

三浦半島労福協・地域連合共催

第2回フードバンクかながわ体験学習会&食品寄贈実施!

12月14日(月)15時から三浦半島労福協・地域連合共催でフードバンクかながわを訪れ、『第2回フードバンクかながわの体験学習会&食品寄贈』を9名参加のもと開催しました。

冒頭、三浦地域連合の及川議長と神奈川県労福協の市川事務局長から挨拶があり、今回の学習会を通じて『フードバンクかながわ』への理解を深め、今後の各組織の協力につなげてもらいたいとお願いがありました。

挨拶後はフードバンクかながわ藤田事務局長からフードバンクかながわの①設立された背景や経緯そして目的、②食品・お米が不足している厳しい現状③各種の支援を頂いた事例報告などの説明を約1時間受けました。

その後体験学習会にうつり、実際に寄付されたものがどのように分けられ、必要とする方に届けるまでの加工工程の一部を実際に体験しました。

今回は2班に分かれて、大袋で頂いたお米を個人配布しやすいように、専用の器具を使い1.5キロの袋に小分けをする作業のチーム、個人から頂いた様々な食品を種類や賞味期限ごとに分け、専用の棚に仕訳けるチームで作業を行いました。

それぞれの作業には意味があり、お米を1.5キロは支援を必要としている方が度々足を運んでもらい貧困状況の把握を行うために、そして、賞味期限仕訳は頂いた食品を無駄にしないために消費期限の迫ったものから極力優先に供給することを目的にしています。

また、今回は11月~12月に三浦半島労福協・地域連合共催で実施した

フードドライブで集めた食品(お米106キロ、食品186点・22キロ)をフードバンクかながわに寄贈しました。

新型コロナウイルスの影響で、貧困層が増加して、お米や食品を求めている方が多いと聞いていましたが、前回訪問した時よりも、お米や食品の備蓄量が激減していることに驚きました。

最後は労福協松本会長より、フードバンクかながわへ、学習会受け入れのお礼と参加者にはフードドライブへの更なる協力をお願いし、終了しました。

